

WBT コースカタログ 読み方ガイド

Version 1.0

2002.06.25

先進学習基盤協議会
コンテンツ部会 e-Learning 評価項目検討 WG

目次

1 . はじめに	1
2 . 目的.....	1
3 . WBT 表示項目の構成	1
4 . 今後の活用のイメージ	2
5 . 注意点.....	2
6 . WBT 表示項目の説明	5
6 . 1 コース基本情報.....	5
6 . 2 学習環境情報	6
6 . 3 サービス基本情報	8
6 . 4 コンテンツ情報.....	9
6 . 5 学習者サービス情報.....	12
7 . 最後に.....	14

執筆分担

1 . ~ 5 .	古賀 暁彦	(学校法人産業能率大学)
6 . 1	古賀 暁彦	(学校法人産業能率大学)
6 . 2	鈴木 あゆみ	(エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社)
6 . 3	森嶋 美和子	(富士通オフィス機器株式会社)
6 . 4	山形 優子	(株式会社テプコシステムズ)
	高岡 良行	(東光精機株式会社)
6 . 5	新目 真紀	(株式会社ケアブレインズ)
7 .	古賀 暁彦	(学校法人産業能率大学)

1．はじめに

(1)背景

WBT コースのカatalogや Web 上の説明を読む時、書かれている内容がよくわからなかったり、どんな点に留意して読んだら良いのか分からなかったりすることありませんか？

先進学習基盤協議会(ALIC)コンテンツ部会 e-Learning 評価項目検討ワーキンググループ(以下 WG)では「ユーザが WBT コースを選択しやすい環境をつくる」ため「WBT コースカatalog読み方ガイド」を作成することになりました。

ガイド作成にあたっては、各社の WBT コースのパンフレットや Web での説明から頻出する表示項目と表示の仕方をチェックし、最大公約数としての「WBT 表示項目」を作成しました。この「WBT 表示項目」に基づき読み方を解説したのがこの「WBT コースカatalog読み方ガイド」です。

(2)「評価」or「表示」

当初 WG では、ユーザが良質な WBT コースを選択できるための評価基準が必要だという考えから出発しました。しかし、コースの良し悪しを問うと、評価者や評価基準をつくる人の主観(学習に関する考え方、Web ユーザビリティに対しての思想)が入ってしまい客観的な基準の合意形成に時間がかかってしまいます。また、現在の日本では「良し悪し」を問うほどコースが充実しておりません。そこで「評価」するのではなく最大公約数としての「WBT 表示項目」をリストアップし、ユーザの皆様がそれらの意味を理解できることの方が現在の日本の e ラーニング業界にとって役に立つのではという声があがり、「WBT 表示項目」とその読み方についてのガイドを検討することになりました。

従って、今回のガイドはユーザの皆様にとっては、WBT コース選択の最初の段階で使っていただくような項目(や機能の有無)を対象としています。最終的な善し悪しを判断するための情報の表示でないということをご理解願います。

2．目的

(1)対象(ユーザ)

学習者と企業の教育担当で WBT コースの受講(導入)を検討している人

(2)目的

WBT コースの受講(導入)の選択に際し、上記ユーザが必要最低限押さえておくべき最大公約数としての表示項目をリストアップし、その意味とコース選択の際の留意点をガイドにまとめることで、ユーザの WBT コース選択時の意思決定を支援する。

3．WBT 表示項目の構成

全体で59の表示項目から構成されます。これらの表示項目は「学習環境情報」、「サービス基本情報」、「コンテンツ情報」、「学習者サービス情報」の4つに大別されます。

(1)学習環境情報

この分類には当該 WBT コースを受講する上で必要となるパソコンのスペック(ハード、OS、ソフト)と通信環境についての15項目が含まれます。

(2)サービス基本情報

この分類には当該 WBT コースを受講する際の申し込み単位、受講料、学習者管理機能の有無等、学習サービスの基本情報についての14項目が含まれます。

(3)コンテンツ情報

この分類には当該 WBT コースの期間、学習内容、対象者、学習方法、学習メディアなどについての14項目が含まれます。

(4)学習者サービス情報

この分類には学習内容に関する質問の受け付け、メンタリング、ヘルプデスク等サービスについての16項目が含まれます。

各表示項目の説明については「6．WBT 表示項目の説明」を、また表示項目の一覧については別紙「WBT 表示項目一覧」を参照してください。

4．今後の活用のイメージ

今後 WG では、以下のような活用イメージを検討していきます。

(1)WBT コース検索および登録サイトの作成

各社の WBT コースが表示項目の条件で検索可能な Web サイトの構築。

- (a)ジャンル、キーワード等で大まかな検索ができる
- (b)上記条件に合致するコースを一覧表示できる
- (c)一覧の中からさらに細かい条件で絞り込み検索ができる
- (d)コースの詳細の表示ができる

といった利用を想定しております。

(2)WBT コース登録機能の作成

上記検索を可能とするため、教育事業者用の登録機能の作成。

- (a)Web 上の登録フォーム
- (b)標準データ形式ファイルの一括入力
- (c)コース共通情報の一括入力等

の機能を検討していきます。

5．注意点

この WBT 表示項目に従って WBT コースの内容をチェックする際の注意点が4つあります。

(1)機能がたくさんついているコースがいいコースとは限らない

学習機能がたくさんついているコースであっても、自分(自組織)の学習にとって必要のないものであればあっても無駄です。「機能あり」の数が一番多いコースがいいコースで

はありません。まずはご自身が必要だと思われる学習機能が何なのかを明確にした上で検索するよう心がけてください。

そこで、この冊子では「この機能が有るとこんな学習が可能」あるいは「この機能がない場合、こういったことができません」といった項目の「意味」をできるだけ解説するようにしております。

(2) 使える環境がなければ学習はできない

最初にチェックしていただきたいのは「学習環境」です。いくら良いコースでもパソコンのスペックやネットワーク環境によって学習できないものがあります。「学習環境」に制約条件がある場合、ジャンルやキーワードで検索した後かならず学習環境をチェックしてください。

(3) コンテンツだけでなくサービスにも注意を払う

本ガイドラインでは『コース=コンテンツ(=教材)+サービス』としてとらえています。単に Web 上のコンテンツだけでなく、質問対応等の学習者サービス情報、申し込み方法や学習管理等に関してのサービス基本情報にも注意を払いましょう。従来の公開セミナーや通信教育と異なり、WBT では様々なサービスレベルが設定可能です。自分(自組織)が必要とするサービスレベルを想定した後、チェックすることをお勧めします。

(4) 価格の表示について

今回のガイドラインは 1 人あたりの受講料(個人料金)、もしくは団体料金での表示ができるようにしております。ただし、今後様々な e ラーニングコースの価格モデルが出てくることが予想されますので、表示方法についても柔軟に対応していきたいと思います。

<WBT 表示項目 見本>

コース基本情報

コース名	
会社名	× × × × × × × ×
担当部署	
連絡先	03-xxxx-xxxx
URL	http://www.xxxx.com/
提供モデル	ASP
(備考欄)	

(1)学習環境情報

PCスペック	
1 CPU	Pentium以降
2 メモリ	最低 64MB以上 推奨 128MB以上
3 ディスク容量	10MB以上の空き容量
4 画面解像度	最低 800*600Pic以上 推奨 1024*768Pic以上
5 CD-ROM	不要
6 サウンドカード	推奨
7 OS	<input checked="" type="checkbox"/> Win95 <input checked="" type="checkbox"/> Win98 <input checked="" type="checkbox"/> Win98SE <input checked="" type="checkbox"/> Win Me <input checked="" type="checkbox"/> Win NT <input checked="" type="checkbox"/> Win2000 <input checked="" type="checkbox"/> Win XP <input checked="" type="checkbox"/> Mac7.x <input checked="" type="checkbox"/> Mac8.x <input checked="" type="checkbox"/> Mac9.x <input checked="" type="checkbox"/> MacX <input checked="" type="checkbox"/> その他(備考欄)
8 ブラウザバージョン	最低 IE4.01sp2 推奨 IE5.5sp1以上
9 Cookieの利用	要
10 必要なソフトウェア (ブラウザソフト含む)	<input checked="" type="checkbox"/> Acrobat Reader <input checked="" type="checkbox"/> Macromedia Flash Player <input type="checkbox"/> Macromedia Shockwave Player <input type="checkbox"/> Real Player <input type="checkbox"/> Authorware Web Player <input type="checkbox"/> Quick Time <input type="checkbox"/> Windows Media Player <input type="checkbox"/> その他(備考欄)

通信環境

11 インターネット接続の要否	要
12 通信速度	最低 56Kbps以上 推奨 64Kbps以上
13 フルオンライン/オフライン/ハイブリッド	フルオンライン
14 メールアドレス	要
15 学習環境情報...備考欄	WinXPは調査中です。JAVAスクリプトを利用します

(2)サービス基本情報

申込方法	
16 申込単位	法人のみ
料金	
17 受講料(コース料金)	個人料金(円) 15750
消費税込	団体料金(人当り)
18 オプション料金	あり(備考欄)
19 リファンド、キャンセル料	あり(備考欄)
20 支払い方法	<input type="checkbox"/> 個人払い <input checked="" type="checkbox"/> 法人一括払い <input type="checkbox"/> その他(備考欄)
21 料金...備考欄	

学習者管理

22 管理機能の有無	あり
23 個人認証	あり
24 プライバシーポリシー	あり
25 SSL対応	対応のみ
26 修了判定の有無	あり
27 修了証書の有無	あり(データファイル)
28 公的援助、認定	なし

29 サービス基本情報...備考欄	オプションおよびサービス料金に関しては上記までお問合せください
-------------------	---------------------------------

(3)コンテンツ情報

30 延べ学習時間	15時間
31 在籍期間	4ヶ月
32 期間情報...備考欄	

テーマと対象

33 シャンル	<input checked="" type="checkbox"/> 階層別教育/マネジメント <input type="checkbox"/> 計数/経理/財務 <input type="checkbox"/> 営業/販売/マーケティング/サービス <input type="checkbox"/> 技術/生産/製造/開発/品質/ISO <input checked="" type="checkbox"/> ビジネススキル/ビジネス知識 <input type="checkbox"/> 語学/国際業務 <input type="checkbox"/> 趣味教養 <input type="checkbox"/> IT/OA/コンピュータ <input type="checkbox"/> 資格/検定 <input type="checkbox"/> その他(備考欄)
34 対象とする階層	ありの場合 特定しない
35 対象とする職種	ありの場合 特定しない
36 対象とする業種	ありの場合 特定しない
37 受講前提	ありの場合 特定しない

学習内容

38 概要 (学習目標/ねらい/章立て等)	今日の経営戦略について、その全体像と一般的な課題を確認するとともに、自社の戦略を理解するために必要なポイントを理解します。
39 学習内容詳細の参照先の有無	あり(参照先URL)
参照先URL	http://www.xxxx.com/

学習メディア 学習方法

40 学習メディア	標準 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン教材 <input type="checkbox"/> スクーリング <input type="checkbox"/> 紙テキスト <input checked="" type="checkbox"/> CD-ROM/DVD等メディア <input type="checkbox"/> その他の教材 オプション <input type="checkbox"/> オンライン教材 <input type="checkbox"/> スクーリング <input type="checkbox"/> 紙テキスト <input type="checkbox"/> CD-ROM/DVD等メディア <input type="checkbox"/> その他の教材 その他の教材
41 準拠している標準規格	なし
規格とVer.	
42 学習方法	<input checked="" type="checkbox"/> 学習事前テスト <input checked="" type="checkbox"/> 演習問題 <input checked="" type="checkbox"/> 修了テスト <input type="checkbox"/> ケーススタディ <input type="checkbox"/> 協調学習 <input type="checkbox"/> シミュレーション <input type="checkbox"/> ムービー <input checked="" type="checkbox"/> 音声 <input type="checkbox"/> 用語集 <input type="checkbox"/> テスト問題のパーソナライズ <input checked="" type="checkbox"/> コンテンツのパーソナライズ <input type="checkbox"/> その他(備考欄)

43 コンテンツ情報...備考欄	1日あたりの標準学習時間は約15分～20分を想定しております
------------------	--------------------------------

(4)学習者サービス情報

学習内容に関する質問受付

44 有無	あり
45 受付方法	<input type="checkbox"/> e-Mail <input checked="" type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他(備考欄)
46 受付回数、頻度	標準で5回まで受講料に含まれています
47 受付時間	随時(サーバ保守の停止中以外)
48 受付から回答までの時間	3～5日
49 回答者の属性	専門分野における本学の添削指導講師

メンタリングサービス(学習動機付け)

50 有無	あり
51 回数、方法、内容	学習進捗にあわせたチャリングメール、アラームメールを配信しヘルプデスク(操作方法等の質問受付)

52 有無	あり
53 受付方法	<input checked="" type="checkbox"/> e-Mail <input checked="" type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> FAX <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他(備考欄)
54 受付回数、頻度	特に制限は設けておりません
55 受付時間	電話でのお問合せ12:00～20:00 火曜日、土曜日、祝祭日および年末年始の特定日を除く毎日(Web、e-mailは随時受付)
56 受付から回答までの時間	Web、e-mailの場合は多少お時間をいただく場合がございます

その他学習者サービス

57 掲示板	オプションであり
58 受講(修了)後アフタケア等	なし
59 学習者サービス情報...備考欄	

6 . WBT 表示項目の説明

6 . 1 コース基本情報

ここには対象コースの基本情報について表示されています。

コース名

1 つのコースの中で複数の選択がある場合は別のコースとして登録されています。

(例：MS Word 入門で 2000 と XP それぞれのバージョンがある場合などは、別のコースとして掲載されています)

会社名

対象コースを提供する事業者名が表示されています。

担当部署

対象コースを提供する事業者内の担当部署、問い合わせ窓口が表示されています。

連絡先

上記の電話番号、メールアドレス等、連絡先が表示されています。

URL

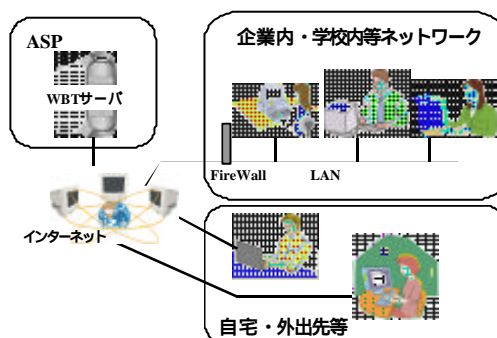
コンテンツ(=教材)やサービスなど対象コースの詳細が説明されている Web サイトの URL が表示されています。

提供モデル

ASP、イントラネット、その他のいずれかが表示されています。

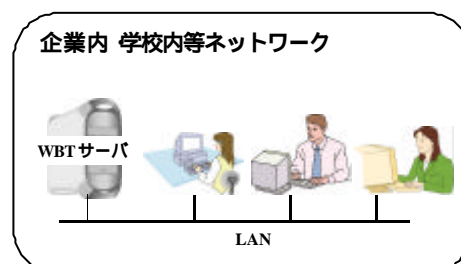
「ASP」

ASP (アプリケーションサービスプロバイダー) による WBT コースのサービス提供のパターンです。インターネットに接続環境があれば受講できるタイプの WBT です。しかしセキュリティの関係でインターネットに接続できない職場のパソコン等からは受講ができないこともあります。



「イントラネット」

自社のイントラネット上に WBT プラットフォームを構築し、そこにアクセスして WBT を受講するパターンをいいます。イントラネットに対して社外からのアクセスを禁止している会社の場合、職場の中のパソコンでしか受講ができません。



6.2 学習環境情報

この分類には当該 WBT コースを受講する上で必要となるパソコンのスペック(ハード、OS、ソフト)と通信環境についての15項目が表示されています。ここでは、次のことを確認するのが良いでしょう。

- ・ 対象コースを学習するために必要となる環境が整っているかを確認する。
パソコンの能力、通信能力などで学習可能かを判断します。あなたが教育担当者の場合、複数の受講対象者の環境を確認する必要があります。
- ・ コンテンツの中でどのような表現方法を利用しているのかを推測する。
利用するソフトウェアから、当該コースコンテンツ内でどのような表現方法を利用しているのかを知ることができます。

(1)PC スペック

1. CPU

動作が保証されている最低限の環境を「CPU(MPU)名+バージョン+クロック 以上」という形で表示されています。 例)Pentium 800MHz 以上

2. メモリ

「最低」には、動作保証されている最低のメモリが表示されています。「推奨」に表示されている以上のメモリが搭載されていれば、快適な学習環境が期待できます。

3. ディスク容量

ファイルのダウンロードなどで必要とされるディスク容量が表示されています。特に必要とされていない場合は、「不問」、「特に問わない」など表示されています。

4. 画面解像度

対象コースを Web ブラウザで表示する場合に、必要となる最低限の画面解像度が表示されています。「推奨」に表示されている以上の画面解像度であれば、快適な学習環境が期待できます。

5. CD-ROM

CD-ROM が必要となる場合は「要」、利用しない場合は「不要」、あればより効果的に学習可能となるものは「推奨」と表示されています。

6. サウンドカード

サウンドカードが必要となる場合は「要」、利用しない場合は「不要」、あればより効果的に学習可能となるものは「推奨」と表示されています。「要」または「推奨」の場合は、学習するパソコンを確認しましょう。なおこの項目が「要」もしくは「推奨」ということはコンテンツに音声を用いられていることを意味します。

7. OS

学習するパソコンの OS に対応しているかを確認してください。

8. ブラウザ・バージョン

対象コースを学習できる Web ブラウザの種類とバージョンが表示されています。「最低」

には、コンテンツ表示を保証する最低限の Web ブラウザのバージョンが表示されています。十分な学習効果を得るためには、「推奨」のブラウザを利用するのが良いでしょう。ただし、会社によっては使用するブラウザが指定されているため、勝手にインストールやバージョンアップができない場合があるので注意が必要です。

9 . Cookie の利用

Cookie の設定が必要になる場合「要」と表示されています。会社等によってはセキュリティの関係で Cookie の利用を許諾していない場合もあるので注意が必要です。

10 . 必要なソフトウェア(プラグインソフトを含む)

対象コースを学習する際に必要となるプラグインなどのソフトウェアが表示されています。基本的には無償でダウンロードできるものばかりですが、会社のパソコンで学習する場合でインターネットとの接続も行えない場合は、そのインストール方法を検討する必要があります。

なお Real Player,Quick time,Windows Media Player にチェックがある場合はコンテンツに動画が音声がいわれていることを意味します。

(2)通信環境

11 . インターネット接続の可否

インターネット上のサーバにアクセスして学習する、サーバはイントラネットにあるもののインターネット上の Web ページを参考としてリンクする、あるいは必要なソフトウェアを入手しダウンロードする等でインターネットへの接続が必要か否かが表示されています。

「要」の場合は、インターネット環境への接続ができない場合に学習ができませんので注意しましょう。

12 . 通信速度

「最低」には、動作が保証されている必要最低限の通信速度が表示されています。「推奨」に表示されている以上の通信速度があれば、快適な学習が期待できます。通常は「推奨」に表示されている通信速度以上をもつパソコンを持っていることが望ましいでしょう。

13 . フルオンラインモデル、オンラインオフラインモデル

ネットワークに接続したまま対象コースを学習する必要がある場合は「フルオンラインモデル」、コンテンツのダウンロードや CD-ROM 等の併用により回線の接続を切った状態でも学習できる場合は「オンラインオフラインモデル」と表示されています。従量性の課金契約をしているなど通信費等が問題になる場合は、検討の材料となるでしょう。

14 . メールアドレス

学習内容に関する質問やレポートの提出などでメールアドレスが必要になる場合は「要」、あれば便利である場合は「推奨」と表示されています。対象コースによっては、これらサービスの受付がメールのみである場合もあるので注意することが必要です。

また「要」または「推奨」の場合は、学習者ごとにメールアドレスが与えられていることが必要です。

(3)備考欄

15. 学習環境情報...備考欄

1. ~ 14. の項目の補足説明が表示されています。詳細情報の説明がある Web サイトの URL や問い合わせ窓口の連絡先が表示されている場合もあります。

6.3 サービス基本情報

この分類には当該 WBT コースを受講する際の申し込み単位、受講料、学習者管理機能の有無等、学習サービスの基本情報についての 14 項目が表示されています。学習サービスを購入する際の基本情報ですのでよくチェックしましょう。

(1) 申込方法

16. 申込単位

受講の申し込みが、個人のみ、法人のみ、あるいは両者いずれも可能であるかについて表示されています。その他申し込み区分などの特記事項がある場合は項目 21. に表示されています。

(2) 料金

17. 受講料(コース料金)

消費税込の受講料金が表示されています。個人ごとの受講料金がある場合は「個人料金」に、10 人まで〇×円、11 ~ 50 人まで ×円等の料金体系がある場合は「団体料金」に表示されています。団体料金の場合最低ロットでの料金が記載されています。また追加事項に関しては項目 21. に表示されています。

18. オプション料金

追加サービスなどオプションを選択した際、上記受講料以外に必要な料金の有無が表示されています。「あり(備考欄)」の場合はその内容が項目 21. に表示されます。

19. リファンド、キャンセル料金

受講申し込み後にキャンセルした場合の規定や、返金に関する取り決めの有無が表示されています。「あり(備考欄)」の場合はその内容が項目 21. に表示されます。

20. 支払い方法

受講料金の支払い方法が表示されています。「その他(備考欄)」の場合はその内容が項目 21. に表示されます。

21. 料金...備考欄

16. ~ 20. の項目の補足説明が表示されています。詳細情報の説明がある Web サイトの URL や問い合わせ窓口の連絡先が表示されている場合もあります。

(3) 学習者管理

22. 管理機能の有無

学習進捗やテスト結果の閲覧や出力など、教育担当者用の学習者管理機能が備わっているかどうかが表示されています。この機能がないと教育担当者は学習途中での学習者の進捗や達成状況の確認ができません。

2 3 . 個人認証

個人ごとの認証を行うかどうかが表示されています。一般的には学習者ごとに ID とパスワードを付与し、WBT にログインする際にそれらを入力することで個人ごとの認証を行います。

2 4 . プライバシーポリシー

学習者の名前、所属、住所、学習に関わる成績情報などは重要な個人情報であり、教育事業者はその取り扱いへの注意が必要です。ここではプライバシーマークの取得など個人情報保護に関する教育事業者側の組織的な取り組みの有無が表示されています。

2 5 . SSL対応

暗号化された安全な通信を提供するしくみである SSL(Secure Socket Layer)への対応の有無が記載されています。SSL に対応することにより学習者の個人情報はより安全にインターネット上でやりとりされますが、会社のセキュリティポリシーによっては SSL 対応のサイトにアクセスできない場合もありますので確認が必要です。

2 6 . 修了判定の有無

紙の通信研修等と異なり、修了という概念を持たない WBT コースも多く存在します。ここでは学習者の修了判定の有無について表示されています。

2 7 . 修了証書の有無

修了証書発行の有無が表示されます。学習者からの修了証の提示で会社が受講料の補助を行っている場合など必須の項目となります。

2 8 . 公的援助、認定

職業訓練給付制度等の公的援助制度やビジネスキャリア認定制度等への対応の有無が表示されています。

(4)備考欄

2 9 . サービス基本情報...備考欄

2 2 . ~ 2 8 . の項目で補足説明が表示されています。詳細情報の説明がある Web サイトの URL や問い合わせ窓口の連絡先が表示されている場合もあります。

6 . 4 コンテンツ情報

この分類には対象コースの学習時間、ジャンル、受講対象、学習内容、学習方法、学習メディアなど 1 4 項目のコンテンツ情報が表示されています。

(1)期間情報

3 0 . 延べ学習時間

受講を開始してから修了までを連続して行った場合の延べ学習時間が表示されています。学習時間の長さでおおよそのコースの分量が把握できます。延べ学習時間には個人差がありますので在籍期間内に修了できるペースで学習しましょう。

3 1 . 在籍期間

対象コースを受講可能な期間が表示されています。学習者は在籍期間内に学習を開始し、修了の判定を受けることができます。ASP 型の WBT コース(インターネット上の教育事業者

のサーバにアクセスするタイプの WBT)の場合は、対象コースにアクセスすることができる期間となります。

3 2 . 期間情報...備考

3 0 . と 3 1 . の項目の補足事項が表示されています。また受講できる時間帯や、教育事業者が想定する標準的な学習期間も表示されます。

(2)テーマと対象

3 3 . ジャンル

「階層別教育/マネジメント」、「計数/経理/財務」、「営業/販売/マーケティング/サービス」、「技術/生産/製造/開発/品質/ISO」、「ビジネススキル/ビジネス知識」、「語学/国際業務」、「趣味教養」、「IT/OA/コンピュータ」、「資格/検定」、「その他(備考欄)」の内、対象コースが属している分野が表示されています。

3 4 . 対象とする階層

特定の階層を対象としたコースの場合は「あり」の表示とともに、経営者層、管理者層、中堅層、新人・内定者等、具体的な階層名が表示されています。

3 5 . 対象とする職種

特定の職種を対象としたコースの場合は「あり」の表示とともに、人事スタッフ、営業パーソン、技術者等、具体的な職種名が表示されています。

3 6 . 対象とする業種

特定の業種を対象としたコースの場合は「あり」の表示とともに、金融業、飲食業等、具体的な業種名が表示されています。

3 7 . 受講前提

受講の前提条件があるコースの場合は「あり」の表示とともに、受講するにあたって必要な知識、スキル、熟達レベル(初級、資格 1 級等)等、具体的な前提条件が表示されています。

(3)学習内容

3 8 . 概要(学習目標/ねらい/章立て等)

受講後の知識到達目標、学習のねらい、コンテンツの章・節・項構成等が表示されています。

3 9 . 学習内容詳細の参照先の有無

学習内容情報についての参照先 Web サイトがある場合は「あり」の表示とともに、参照先 URL が表示されています。

(4)学習メディア・学習方法

4 0 . 学習メディア

対象コースを構成する学習メディアの内、標準で提供されるもの、別途追加オプションで提供されるものが、それぞれ表示されています。

4 1 . 準拠している標準規格

準拠している標準規格がある場合は「あり(規格と Ver.)」の表示とともに、具体的な規格名とバージョンが表示されています。

4 2 . 学習方法

当該コンテンツで提供される学習方法や機能が表示されています。

「学習事前テスト」

学習の事前にテストや診断を行います。「コンテンツのパーソナライズ」とあわせて提供されることにより、事前テストの結果から個々の学習者にあった学習方法やコンテンツが提示されるようになります。

「演習問題」

単にコンテンツを見たり読んだりするだけでなく、知識をより着実に定着させます。

「修了テスト」

演習問題と異なり知識の定着度合い、達成度を診断することができます。

「ケーススタディ」

ケーススタディとは、実際のビジネスなどからの事例を用いて、データを分析しながら、短時間で自分なりに問題定義と解決案を考え、それを立証する練習をいいます。自ら課題を考える力がつきます。

「協調学習」

他の学習者とコミュニケーションしながら学習する形態のことです。

「シミュレーション」

実際の仕事やコンピュータソフトの操作をパソコン上で再現し体験学習を行うものです。より実務に即した知識やスキルが身につきます。

「ムービー」

ストリーミング配信等の動画で、実技場面や講師の講義場面をパソコン上で再生します。特に前者の場合静止画に比べ動きを理解するのに役立ちます。

「音声」

ナレーション等音声画面とあわせて伝達されることにより理解度を増します。職場等で音声を再生できない学習環境の場合、音声が必要(「6.サウンドカード」の欄を参照)だと受講できない場合があります。

「用語集」

コースの中に出てくる用語とその説明の一覧です。知識の検索が楽になります。

「テスト問題のパーソナライズ」

個々の学習者の進捗や達成状況にあわせてテスト問題を変える機能です。テスト問題をランダムに出したり、より理解が必要な分野の問題を繰り返して出したりすることにより学習の効果を高めます。

「コンテンツのパーソナライズ」

個々の学習者の進捗や達成状況にあわせてページの順番等を変える機能です。プレテストの結果により学習者のレベルに合わせた位置から学習を開始したり、知識の習得が不十分と思われるページを再度表示したりします。

(5)備考欄

4 3 . コンテンツ情報...備考欄

3 0 . ~ 4 2 . の項目の補足説明が表示されています。詳細情報の説明がある Web サイトの URL や問い合わせ窓口の連絡先が表示されている場合もあります。

6 . 5 学習者サービス情報

この分類には学習内容に関する質問の受け付け、メンタリング、ヘルプデスク等サービスについての 1 6 項目が含まれます。

一般に学習者サービスは、イントラネット型コンテンツの提供サービスでは提供されていないサービスです。ASP 型コンテンツの利用を検討の方は次のことを確認すると良いでしょう。

- ・ 受けられる学習者サービスがどの程度あるかを確認する。

学習者サービスには大別すると 3 種類あります。1 つが対象コースの学習内容に関する質問受け付けサービス。2 つめが学習活動を支援するメンタリングサービス。そして 3 つめがコンピュータの操作方法などに関する質問を受け付けるヘルプデスクサービスです。あなたが企業の教育担当者の場合、研修の目的に応じてこれらのサービスの活用を検討するとよいでしょう。

- ・ 学習者サービスの提供方法の確認。

学習者サービスはオプションとして提供される場合が多く、個別対応する教育事業者も多いので利用する場合は提供方法やオプション料金を確認するとよいでしょう。

(1)学習内容に関する質問受付

4 4 . 有無

学習内容に関する質問の受け付けサービスの有無が「あり」、「なし」で表示されています。別途費用が発生する場合、ケースバイケースで実施される場合は「オプションであり」と表示されます。

4 5 . 受付方法

4 5 . ~ 4 9 . の項目は質問の受け付けサービスを実施している場合 (4 4 . の項目で「あり」又は「オプションであり」の場合)にのみ表示されています。

質問を受け付ける方法はメール、Web、FAX、電話と様々です。ご利用になりたい方法が提供されているかを確認しましょう。

4 6 . 受付回数、頻度

質問の受け付け回数や頻度が表示されています。コースによっては質問を受け付ける回数や頻度に制限を設けている場合があります。

4 7 . 受付時間

メールや電話など質問を受け付ける方法ごとに、受付時間が異なる場合があります。希望

する方法での受付時間を確認しましょう。

48．受付から回答までの時間

電話以外の方法で質問をした場合、回答までにタイムラグがある場合があります。受付方法別に回答までの時間の目安が表示されていますので、どのくらいの期間で回答してもらえるか確認しておきましょう。

49．回答者の属性

学習内容に関する質問への回答は、当該分野の専門性が要求されます。回答者のクオリティが求める水準にあるかを確認しましょう。

(2)メンタリングサービス(学習動機付け)

50．有無

学習者のやる気を持続させるようなメンタリングサービスの有無が「あり」、「なし」で表示されています。別途費用が発生する場合、ケースバイケースで実施される場合は「オプションであり」と表示されます。

51．回数、方法、内容

50．の項目で「あり」、「オプションであり」と表示されている場合、メンタリングの回数や方法が表示されています。学習者の進捗状況を見てメンターがアドバイスや励ましのメールを送る、学習者からの相談に乗るなどのサービスが、どのくらいの頻度で実施されるかを確認しましょう。

(3)ヘルプデスク(操作方法等の質問受付)

52．有無

コンピュータの操作方法などに関する質問を受け付けるヘルプデスクの有無が「あり」、「なし」が表示されています。別途費用が発生する場合、ケースバイケースで実施される場合は「オプションであり」と表示されます。

53．受付方法

53．～56．の項目はヘルプデスクサービスを実施している場合(52．の項目で「あり」又は「オプションであり」)のみ表示されています。

質問を受け付ける方法はメール、Web、FAX、電話と様々です。ご利用になりたい方法が提供されているかを確認しましょう。

54．受付回数、頻度

質問の受け付け回数や頻度が表示されています。コースによっては質問を受け付ける回数や頻度に制限を設けている場合があります。

55．受付時間

メールや電話など質問を受け付ける方法ごとに、受付時間が異なる場合があります。希望する方法での受付時間を確認しましょう。

56．受付から回答までの時間

電話以外の方法で質問をした場合、回答までにタイムラグがある場合があります。受付方法別に回答までの時間の目安が表示されていますので、どのくらいの期間で回答してもらえる

るか確認しておきましょう。

(4)その他学習者サービス

57． 掲示板

学習者間、学習者と指導者間のコミュニケーションツールの「あり」、「なし」が表示されています。ケースバイケースで実施される場合は「オプションであり」と表示されます。

58． 受講(修了後)アフタケア

学習修了後の復習環境の提供、質問の受け付けといったアフタケアの「あり」、「なし」が表示されています。ケースバイケースで実施される場合は「オプションであり」と表示されます。

(5)備考欄

59． 学習者サービス情報...備考欄

44．～58．の項目で補足説明が表示されています。詳細情報の説明がある Web サイトの URL や問い合わせ窓口の連絡先が表示されている場合もあります。

7．最後に

『WBT コースカタログ読み方ガイド』いかがでしたでしょうか?このガイドは先進学習基盤協議会の e-Learning 評価項目検討ワーキンググループに集ったボランティアの手で作成されたものです。ユーザの皆様がより e ラーニングに親しみを持ってもらうためには何が必要かを考える上で「e ラーニングの選びやすい環境」が必要と考えました。

冒頭にも書いたとおり、このガイドはコースの「善し悪し」は判別するものではありません。このガイドが皆様の「e ラーニングを選ぶ目」を養うきっかけとなっただけならば、ワーキンググループのメンバーにとってこれに勝るよろこびはございません。

今回作成した『WBT コースカタログ読み方ガイド』は、皆様が安心して e ラーニングを選ぶための「第一歩」です。ユーザの皆様、さらに教育事業者の皆様からのご意見をもとに、さらに良いものにしていきたいと考えております。ご意見、ご感想等がございましたら、ぜひ ALIC 事務局までアドバイスいただければ幸いです。下記の URL にてパブリックコメントを募集しておりますのでよろしくお願いいたします。

パブリックコメント URL : <http://www.alic.gr.jp/anq/ewg/> (2002/7/30 まで)

WBT コースカタログ読み方ガイド

Version 1.0

2002 年 6 月 25 日 作成

著者：先進学習基盤協議会 コンテンツ部会
e-Learning 評価項目検討ワーキンググループ
contact@alic.gr.jp
<http://www.alic.gr.jp/>

本書を無断複写複製(コピー)すると著作権者の権利侵害となります。